

# 令和6年度警察庁行政事業レビュー 公開プロセス 結果

事業名	取りまとめコメント
警察情報通信設備等に関する対策	<ul style="list-style-type: none"><li>○こうした設備については、ベンダーロックインが生じやすいので引き続き取組を進めていただきたい。</li><li>○警察電話用交換装置については、メリットとデメリットを慎重に判断しつつ、独自仕様の廃止を進めていただきたい。</li><li>○独自仕様の廃止に伴うデメリットについては、技術の発展をにらみつつ、独自仕様に過度に固執しないことも重要ではないか。</li><li>○通信という技術革新が進んでいる領域において、その技術を取り入れ、中長期的にフローの効率化や省力化、コストダウン等を実現いただきたい。</li><li>○自衛隊、消防の通信ネットワークとサービスを共有することで稼働時間割合を増やしたり、コストダウンを図る余地はないか。</li><li>○独自通信網を維持する理由は何か。衛星通信も含めて民間ネットワークがダウンしたときに独自ネットワークが機能した例はあるか。</li><li>○4つのシステムのうち、最新技術による抜本的切り替えが将来できないか、常に可能性を探っていただきたい。</li></ul>
交通取締り資機材等の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>○速度抑止、事故抑止といった効果を上げるために、ナッジの活用も検討していただきたい。</li><li>○可搬式装置の導入などを契機として、ドライバーの認識が「いつでも、どこでも取締りの可能性がある」というように切り替わることで効果が最大化する。そのために広報の手法を大きく改革改善すべきではないか。</li><li>○県に対する補助金の場合、本件に限らずアウトカムに対する評価が十分に行われていないことがある。</li><li>○国民生活の安全に関わる事なので不公平感が出ないよう、リスクの高い地域から優先的に整備できるようお願いしたい。</li><li>○高速道路における半固定式がカバーする拠点数については、抑止効果を考えて増加してもよいのではないか。</li><li>○高速道路において車載探知機に登録されない場所でも使える可搬式を導入することも可能ではないか。</li><li>○事業として一定の効果があると判断する。結果のモニタリングを行い、アウトカム達成に向けて配置などを検討いただきたい。</li><li>○納入業者が減少している理由について調査して欲しい。</li><li>○都道府県警察の調達を中央調達にすることでコストダウンをする余地はないか。要求スペックを落とすことによりコストダウンする余地はないか。</li><li>○都道府県の財政負担があることによって必要なオービスが配備されないことがないか調査していただきたい。</li></ul>